

アクロポリスの 丘の麓から

前期
〈第1回～5回〉

—神戸に刻まれた2つの記憶と、
ギリシア劇の周辺—

後期
〈第6回～12回〉

—覗き見古典文学—

人間への眼差し、人間心理への飽くなき追求。

およそ2400年前の作品でありながら、色褪せることなく私たちを引きつけるギリシア劇。

時代の風雪に耐え、これまで残ってきた不朽の名作群を紐解きながら、『人間存在をどのようにとらえるか』・『いかにして自らが、より精神的豊かさを携えて、生きるか』をテーマに、ギリシア劇をもっと深く学んでみたいと思い、この勉強会を企画しました。

10年目を迎える今年、前期は、今秋の劇団公演で取り組む「神戸に刻まれた2つの記憶」とギリシア劇の素材である「ギリシア神話」、「英米文学」におけるギリシア・ローマ文化の受容について、複数の講師の先生をお招きし、学んでいきます。

後期は、丹下先生による古代ギリシア・ローマ文芸作品を題材にした、人情の機微を読む稽古が展開されます。

オンラインでの実施に加え、アーカイブ視聴ができますので、時間と場所を問わず参加しやすくなっています。初めての方でも入りやすい講座です。どなた様もふるってご参加ください。

田中孝弥

アクロポリスの丘の麓から

前期 〈第1回～5回〉

—神戸に刻まれた2つの記憶と、
ギリシア劇の周辺—

後期 〈第6回～12回〉

—覗き見古典文学—

レクチャーの概要 (全12回 ※1回だけの参加も受け付けております。)

前期(第1回～5回)

第1回 4月7日(火)『神戸空襲について 記録し伝えること』

内容: 神戸への空襲の概要/被害体験/
記録し伝える活動・取り組みなど

講師: 辻川敦(神戸空襲を記録する会世話人、
元尼崎市立地域研究史料館長、認証アーキビスト)

第2回 4月21日(火)『神戸における大震災と復興』

内容: 阪神・淡路大震災の被害と復興、
震災前後の連続/断絶、震災の記憶・記録

講師: 村上しほり
(神戸市職員、大阪公立大学特任准教授、認証アーキビスト)

第3回 5月12日(火)『英米文学とギリシア・ローマ文化』

講師: 宮澤優樹(金沢大学准教授)

第4回 5月26日(火)

『ギリシア神話の語りと演劇①』

——鳥に変身した姉妹: プロクネとピロメラ』

講師: 西村賀子(和歌山県立医科大学名誉教授)

第5回 6月2日(火)

『ギリシア神話の語りと演劇②』

——カワセミになったアルキュオネ』

講師: 西村賀子(和歌山県立医科大学名誉教授)

後期(第6回～12回) 講師: 丹下和彦(大阪市立大学名誉教授)

第6回 6月23日(火)

熨斗付けて——ウェルギリウス『アエネイス』

第7回 7月7日(火)

泣かせるぜ——カリトン『カイレアスとカッリロエ』

第8回 7月21日(火)

食った、飲んだ、生きた——エウブロスを読む

第9回 8月25日(木)

★古代ギリシアの食文化——1泊研修旅行

(この回は対面講座のみ実施。
オンラインでの受講はできません。)

第10回 11月17日(火)

ウィーンのメデア——グリルパルツァー『金羊皮』

第11回 12月1日(火)

紅(くれない)の帆

——シモニデス(出典不明断片550)

第12回 12月15日(火)

伝えてよ——シモニデス(碑銘詩断片22)

覗き見古典文学——古代ギリシア・ローマ文芸作品は襟を正して読まねば、と堅苦しく考えますが、それは無用。作中人物の相互の遣り取りをちょっと気を付けて読み取るだけで、面白く読めます。「仕事があるんで」と言ってあたふたと逃げてゆくアエネアスに「おとといおいで」と追い銭を投げつけるディドー——そう読めば、『アエネイス』は面白い物語になります。そんな話をします。人情の機微を読む稽古です。

以下、「泣かせるぜ」は女房に逃げられた中年男の泣き言、「ウィーンのメデア」は子を殺す母のブルク劇場版、「食った、飲んだ、生きた」は前4世紀前半のアテナイ生活事情、「紅の帆」はふとした手違いが死を招いた悲劇、「伝えてよ」は路傍の墓石の哀訴。すべて同じ視点から。

丹下和彦

■レクチャーの形態: オンライン講座(各回前日までに<Zoomのアドレス>をお送りします。)

※翌日から1週間、アーカイブ視聴ができます。

■時間: 19時～21時30分(途中休憩あり)

■料金: 1回1,650円(税込み)

■対象: 演劇経験不問(ギリシア劇を学びたい方ならどなたでも歓迎いたします。)

■お申し込み方法: 銀行振込のみのお支払いになります



清流劇場ウェブサイト内のCONTACT(お問い合わせ)より必要事項をお知らせください。
(振込先口座のご案内)をメールにてお送りしますので、手続きをお願いします。
着金確認後、<ご購入完了>のメールをお送りします。

■申込締切日: 各回実施の4日前(前週の金曜日)

■お問い合わせ: 清流劇場 e-mail: seiryutheater.study@gmail.com phone: 080-2487-1347

web: <https://seiryu-theater.jp>

■表紙絵: 政野裕果

■企画・制作: 一般社団法人清流劇場